

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	3 年
教科等名		日常生活の指導		学習グループ(教育課程)	A (自立)
ねらい		(1) 給食に向け、身支度を整える。 (2) 下校のスクールバス乗車に向け、身支度を整える。			
担当教員		教員：手塚 清香、杉山 みほ C G：高橋 永子			
年間授業時数		3 5 0 単位時間			
使用教科書		なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫	
4	＜通年＞ 給食前の取り組み 下校前の取り組み	3 5 0	○排せつ指導・リラクゼーション、座位保持椅子への移乗、給食準備 ◆排せつがあったことを伝えたり、オムツ交換した後の気持ちよさを声や表情で表したりすることができる。 ◆移乗や着替え等で協力動作ができる。 ◆リラクゼーションを図り、心身ともに給食にむけて準備をすることができる。 ○排せつ指導・リラクゼーション、下校準備・車いすへの移乗 ◆排せつがあったことを伝えたり、オムツ交換の気持ちよさを声や表情で表したりすることができる。 ◆移乗や着替え等で協力動作ができる。 ◆スクールバス乗車（下校）に向けてリラクゼーションを図り、心身ともに安定した状態に整えることができる。 ◆靴の履き替え、バッグに給食袋を入れる等、下校の準備をすることができる。	・排せつ指導では言葉掛けや決まった動作等で、児童の協力動作を引き出すようにする。	
5					
6					
7					
9				・実態に応じて、バッグに自分で給食袋や水筒を入れる等の支度をする。	
10					
11				・靴を履いたり車椅子に移乗したりする際には、サインや身振り、言葉掛け等をして協力動作を促す。	
12					
1				・上着の着脱等について、言葉掛け等で協力動作を促し、自分で脱ぎ着しようとする意識を高める。	
2					
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	3 年
教科等名		国語・算数	学習グループ（教育課程）	A（自立）
ねらい	国語	(知・技)日常生活に必要な身近な言葉に慣れ親しみいろいろな言葉に触れることができる。 (思・判・表)言葉が表す事柄をイメージしたり、受け止めたりする力を養い、人との関わりの中で伝え合い、自分の思いをもつ。 (主)言葉のもつよさや面白さを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、発声やジェスチャー、視線等でのやりとりで伝えようとする態度を養う。		
	算数	(知・技)提示した教材に、視線を向けたり、手で触れたり、操作したりしようとする。 (思・判・表)音や光、振動などの教材を通して、手指の操作性を高める。 (主)発声、サイン、身振り等で表現・伝達する力を育む。		
担当教員		教員：手塚 清香、杉山 みほ CG：高橋 永子		
年間授業時		7 6 単位時間		
使用教科書		ねずみくんのちょっき（ポプラ社）、にしまきかやこのえほん あいうえおはよう（こぐま社）、まる・さんかく・しかくさん（あかね書房）		
	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
通年	課題別学習	3 6	○個に応じた課題を行う ◆目と手の協応動作の向上を目指す。 ◆押す、引く、持つ、握る等の動作で、具体物の操作ができる。 ◆「はい、いいえ」や視線、手で触れるなど、自分なりの方法で意思を伝える。	・児童の体調に合わせて姿勢や時間を調整する。 ・個々の課題に合わせて、提示するものや操作するものを設定する。
4	教科書を見よう 読み聞かせ 「ねずみくんのちょっき」	1 4	○教科書を見ながら物語を聞く。 ◆手元の教材に注目する。繰り返しの言葉や擬音擬態語に注目して絵本を見る。 ○言葉遊びを聞いたり、見たりする。 ◆言葉のリズムに興味・関心をもつ。 ○絵本の読み聞かせを聞きながら、物に触れたり身体を動かしたりする。 ◆活動の流れが分かり、意欲的に参加する。	・体調に合わせて姿勢や時間の調整を行う。 ・絵本の提示の仕方はついたてや書見台を使用するなど実態に合わせて集中しやすいように工夫する。
5				
6				
7				
9	読み聞かせ 「あいうえおはよう」	1 6	○言葉遊びを聞いたり、見たりする。 ◆言葉のリズムを感じ、発声や身体の動きなどで表現する。 ○絵本を見る。再現活動では具体物や写真カード、イラストなどを見て選び取る。 ◆個に応じた教材を使用し、「同じ」であることがわかる。 ◆教材に触れる、掴む、放す等の操作をする。	・繰り返しの場面や言葉のある絵本を選び、心地よく聞くことができるようにする。 ・再現活動では、実態に合わせて、興味のもてる具体物を選び、自分から見るができるようにする。
10				
11				
12				
1	読み聞かせ 「まる・さんかく・しかくさん」	1 0	○言葉遊びを聞いたり、見たりする。 ◆言葉のリズムの違いに気付き、気持ちを発声や身体の動きなどで表現する。 ○丸、三角形、四角形の絵や図を見る。絵の中にある形を見付ける。 ◆形に興味・関心をもつ。違いに気付く。 ○絵本や紙芝居を見る。登場する役になり再現遊びをする。 ◆絵本に出てくる伝統的な日本文化や身近な物に親しみ、興味をもつ。	
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	3 年
教科等名		図画工作	学習グループ(教育課程)	A (自立)
ねらい		(知・技)様々な感触の素材に触れ、興味をもって見たり、触ったりして、すすんで働きかけることができるようになる。 (思・判・表)色や形を自分なりの方法で選び、自分の身体や手指を使って質感や変化を経験して、伸び伸びと表現するとともに、作り出す楽しさに気付く。 (主)教職員と共に様々な素材や形や色などに関わり、楽しさを味わうことができる。		
担当教員		教員：手塚 清香、杉山 みほ CG：高橋 永子		
年間授業時数		73 単位時間		
使用教科書		ぼくのいろいろなあに(ポプラ社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4	みんなで作ろう (春・夏)	29	○紙の色や形が変化する様子に気付き、意欲的に手指を使う。 ・ちぎり絵 ・貼り絵 (季節にちなんだ作品を作る)	・授業の始まりに手の運動を行い、これから手指を使って活動することを意識できるようにする。(通年) ・ちぎり絵の紙は折り紙やセロハン紙、お花紙等、素材を変え、実態(手指の力等)に応じて取り組む。
5	ちぎって貼って 春の花作り		◆色や形の変化に気付き、自分から素材に働き掛ける。	
6			○様々な素材に触れ、造形する楽しみを知る。	
7			◆素材や感触の違いを感じ取り、自分から意欲的に手指を動かすことができる。	
9	虹輝祭の背景を作ろう	27	○大きな刷毛や筆、ローラーなどを使って背景を制作する。(共同作品)	・児童の実態に合わせて道具を用いることができるようにする。 ・色々な素材に触れる機会をつくる。 ・形や色のはっきりした素材を用意し比べることができるようにする。
10	虹輝祭の小道具を作ろう		○虹輝祭に使用する小道具を制作する。	
11			◆友達と一緒に一つのものを作る経験をする。	
12	季節の飾りを作ろう		◆色や形の変化に気付き、興味をもって積極的に手指を使うことができる。	
			○季節にちなんだ制作をする。 ・干支の制作など	
1	卒業生を送り、 新入生を迎える 装飾を作ろう (春)	17	○卒業生を祝って壁面装飾を作る。	・卒業生と関わる機会をつくり、「おめでとう」の気持ちを育み、学習意欲につなげる。
2			◆素材や道具に自分から積極的に関わろうとする。	
3			◆友達や教員と一緒に作り上げる楽しさや達成感を味わう。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	3年
教科等名		音楽		学習グループ（教育課程）	A（自立）
ねらい		(知・技) 教職員と一緒に楽器の奏法に応じた手の動かし方を経験し、奏法を知る。 (思・判・表) 様々な音楽的表現を楽しみ、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴いたり、音楽の変化（音の有無、速さ等）を感じたりすることができる。 (主) 音楽の流れている中で、発声や動きなどで自ら表現しようとする。			
担当教員		教員：手塚 清香、杉山 みほ CG：高橋 永子			
年間授業時数		43単位時間			
使用教科書		うたがみえるきこえるよ（偕成社）			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫
4	季節の歌に親しもう	15	○はじまりの歌（通年） ○季節の歌（「雨ふり」「にじ」など） ◆春から夏にかけての楽曲を興味・関心をもって聴き、親しむ。 ○校歌など ◆教員と一緒に手話の動きをしたり身体を動かしたりしながら歌を楽しむ。 ○身体表現（リトミック） ◆音が鳴っている、もしくは音が鳴っていないこと、速度の変化などに気付き、感じたことを身体で表現する。 ○器楽（「手のひらをたように」など）（手拍子などのボディパーカッション） ◆自分の身体に触れながらリズムを感じる。 ○鑑賞（通年） ◆音や音楽に気付き、興味・関心をもって聴く。		・音や音楽、リズム等の変化に気付くことができるよう、活動中は教職員の言葉掛けをできるだけ減らし、音に集中できる環境を作る。
5	耳を澄まそう				
6	ボディパーカッション入門				
7					
9	季節の音楽	19	○季節の歌（「もみじ」「ジングルベル」など） ◆秋から冬にかけての楽曲を興味・関心をもって聴き、親しむ。 ○身体表現（みんなで踊ろう「しかもと音頭」など） ◆音楽に合わせて、教職員と一緒に移動したり、手や頭などを動かしたりして、友達と一緒に輪になって踊る。 ○器楽（「大きな太鼓」「ドレミの歌」など）（打楽器） ◆一人で、または教職員と一緒に、撥やスティック、マレット等を使って打楽器を鳴らす。		・「しかもと音頭」では、法被や鳴子を使用し、にぎやかな雰囲気を楽しめるようにする。 ・音や楽器の振動を身体で感じられるような活動にする。
10	身体を動かそう				
11					
12	楽器を鳴らそう				
1	友達と一緒に表現しよう	9	○季節の歌（「雪」「花」など） ◆冬から春にかけての楽曲を興味・関心をもって聴き、親しむ。 ○身体表現（リトミック） ◆日常生活でよく見る動き（手を挙げる、手を振る、拍手するなど）を経験し、親しむ。 ○器楽（「ゆかいなまきば」など） ◆友達と向かい合って演奏したり、一つの楽器を友達と一緒に交互に鳴らしたりするなど、友達や集団を意識しながら演奏する。		・表現活動では、リズムカルな楽曲を使用し、楽しい雰囲気を盛り上げる。
2	1年間のまとめ				
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	3 年
教科等名		体育		学習グループ（教育課程）	A（自立）
ねらい		(知・技)いろいろな姿勢や動きを経験し、身体を動かすことの楽しさを知る。 (思・判・表)自分から身体を意図的に動かそうとする。 (主)簡単合図や教職員の言葉掛けに応じて、楽しく運動をしようとしたり、健康に必要な事柄をしようとしたりする態度を養う。			
担当教員		教員：手塚 清香、杉山 みほ C G：高橋 永子			
年間授業時数		7 3 単位時間			
使用教科書		かぜひいちゃった（金の星社）			
月	単元（題材） 名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫
4	身体を動かそう	2 4	○触れられている部位を意識し、身体のを抜いたり、自ら動かしたりする。 ◆自分の身体を意図的に動かそうとする。		・それぞれの身体の動きに合わせた介助を行い、自分からの動きを引き出すことができるようにする。 ・児童の実態に合わせて道具や支援を工夫する。
5	準備体操をしよう（通年）		○トランポリンやバランスボールを扱った活動をする。		
6	揺れや弾みを受け入れよう		◆揺れや弾みを受け入れたり、バランスをとろうとしたりする。		
7	水泳指導 水遊びをしよう	1 1	○水慣れ、水遊び ◆水に慣れ、親しむことができる。 ◆身体の緊張を緩め、心身をリラックスさせる。		・体温調整が難しい児童が多いので、体温や表情、唇の色等に注意する。
9					
10	揺れて遊ぼう マットで遊ぼう	2 0	○縦や横の揺れ刺激を経験し、バランス感覚や体幹の立ち直り機能の向上を図る。 ◆揺れに応じて身体のバランスをとろうとする。		・音楽を用い、流れを一定にし見通しをもち安心して活動できるようにする。 ・少しの促しで自分から身体を動かせるように支援する。 ・児童の実態に合ったボールを用意し的確への当て方を工夫する。
11			○いろいろな種類のボールを触ったり、握ったり、投げたりする。		
12			◆自分から意図的にボールに働きかける。		
1	リズム運動	1 8	○身体表現 ◆音楽に合わせて心地よく身体を動かす		・それぞれの身体の動きに応じて課題を設定して支援する。
2	ダンス				
3					

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	3 年
教科等名		生活単元学習	学習グループ（教育課程）	A（自立）
ねらい		（知・技）様々な活動を通して、自分、身近な人、社会、自然に関心をもち、生活において基本的な習慣や技能を身に付ける。 （思・判・表）植物の生長の観察、季節行事を通して自然の変化や季節を感じ、興味・関心の幅を広げることができる。 （主）教職員と一緒に様々な活動を楽しみながら、生活経験の幅を広げていく。		
担当教員		教員：手塚 清香、杉山 みほ C G：高橋 永子		
年間授業時数		7 5 単位時間		
使用教科書		さわってあそぼうふわふわあひる（あかね書房）、ねずみさんのえほんシリーズ ねずみさんのながいパンや（こぐま社）、ほげちゃん（偕成社）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
通 年	英語であそぼう	3	○外国語に親しむ ◆外国語に触れながら楽しく活動する。	・A L Tと児童の実態について打ち合わせをして進める。
4	野菜を育てよう	2 6	○畑での活動。畑づくり、苗植え、水やり等	・児童が自分から触れられるよう姿勢や道具に配慮する。 ・活動に見通しがもてるよう一定の期間、継続して行う。 ・児童の実態やその日の体調に合わせて、活動内容や時間の調整をする。
5	春を感じよう		◆土や草の感触を受け止め、自分から触ることができる。植物を育てる期待感をもち、苗が育つ様子に気付く。	
6	夏を感じよう		○季節を感じて活動する。	
7	本に親しもう		◆外気や植物、行事を通して季節の変化を感じる。 ○オープンライブラリーで、本を借りたり、読んだりする。	
9	社会見学に向けて	3 0	○社会見学事前事後学習	・児童が見通しを持ちやすいように、買い物遊び等を取り入れる。 ・活動に見通しがもてるよう一定の期間、継続して行う。 ・順番や当番など、簡単な約束に沿って活動できるようにする。
10	虹輝祭で発表しよう		◆社会見学での買い物学習に向けて、買い物の練習をする。	
11	野菜を育てよう		○舞台発表の練習	
12			◆自分の役割を理解し、学習で培った力を発揮する。 ◆意欲的に発表し褒められることで自信をつけ、達成感を味わう。	
1	書初め	1 6	○畑での活動、秋冬野菜の栽培	・持ちやすい持ち手の筆をいくつか用意し実態に合わせて使用する。 ・図画工作と連携し、活動自体の回数を増やし、繰り返し作業が行えるようにする。
2	豆まきをしよう		◆秋冬野菜の種をまき、土や草の感触を受け止め、自分から触ることができる。植物を育てる期待感をもち、育つ様子に気付く。	
3	1年のまとめ		○書道に親しむ ◆のびのびと自分の気持ちを意欲的に表現する。 ○節分の疑似豆まきをする ◆絵本を見たり、言葉を聞いたりして、豆まきの雰囲気味わう。 ○卒業生や新入生のための装飾を作る ◆装飾を作ったりすることで学年の違う友達を意識する。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	3 年
教科等名		特別活動	学習グループ（教育課程）	A（自立） B（知的代替）
ねらい		(知・技)集団の活動の中で、友達を意識する。 (思・判・表)集団で活動することの楽しさを味わう。 (主)教職員や友達との交流を通して、よりよい人間関係を育て、社会性を育む。		
担当教員		教員：楠本 泰周、手塚 清香、杉山 みほ C G：高橋 永子		
年間授業時数		3 7 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	始業式 自己紹介 新入生歓迎会 学年の時間 終業式	1 2	○各行事 ・新入生歓迎会、始業式、終業式等 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆学期の始まりと終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ○学年活動 ・教職員紹介、ゲーム、誕生会等 ◆歌やゲームなどを通して、集団での活動の雰囲気を楽しみ、思いやりやルールについて知る。	・学習グループの異なる児童同士が関わることに主軸を置いた内容を設定する ・学校行事の特質を生かし、特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る。
5				
6				
7				
9	始業式 虹輝祭 学年の時間 終業式	1 4	○各行事 ・虹輝祭、始業式、終業式等 ◆虹輝祭では、学習の成果を発表する。 ◆学期の始まりと終わりを意識し、学校生活の節目を知る。 ○学年の時間 ・虹輝祭に向けての劇遊びや歌・楽器発表、誕生会など。 ◆集団で一つのことを作り上げる達成感を知る。	・それぞれの児童の実態、役割を明確にしたうえで児童の集団でのねらいを設定する。 ・虹輝祭では、日常の学習活動で行っている内容を発表し、自信をもって活動できるようにする。
10				
11				
12				
1	始業式 6年生を送る会 学年の時間 修了式	1 1	○各行事 ・6年生を送る会、始業式、修了式 ◆学期の始まりや学年の終わりを意識し、学校生活の節目を知る。 ○学年の時間 ・冬の遊び、進級に向けて3年生の振り返り、誕生会など。 ◆3年生のまとめや振り返りを通して、自分や友達の成長を知るとともに、次年度への期待感をもつ。	・児童が見通しをもち、安心して参加できるよう視聴覚教材や身体活動を伴う教材を準備する。
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	3 年
教科等名		自立活動		学習グループ（教育課程）	A（自立）
ねらい		(知・技) 将来を見据えて必要な取り組みを積み重ねることで、身体の動かし方を知る (思・判・表) コミュニケーションの基礎を身に付けたり、安定した気持ちで生活したりできるようにする。 (主) 身体の緊張等を緩め、心身の状態や生活リズムを整える			
担当教員		教員：手塚 清香、杉山 みほ CG：高橋 永子			
年間授業時数		298 単位時間			
使用教科書		なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫
4	身体のおり組み	298	○健康観察 【健康の保持】 ◆検温や適切な水分摂取を通して体調を整え、学習に向かう健康状態を整える。 ○身体のおり組【健康の保持、身体の動き】 ストレッチ、うつ伏せ、立位、ウォーカー、介助歩行等 ◆できる動き、受け入れられる姿勢や動きを広げ、可動域や柔軟性を保持したり、筋力をつけたりする。 ◆呼吸状態を整えるとともに、筋緊張を緩め、学習へ向かう姿勢や気持ちを整える。 ◆学習によりよく向かうために、身体各部位の力のコントロールを覚える。		・保健室、自立活動担当教員、外部専門員等と連携しながら課題設定をし、継続的に取り組めるようにする。 ・コミュニケーションと主体性を大事にしながら指導を行う。
5					
6					
7	個別学習		○排せつ指導【健康の保持、心理的な安定、環境の把握】 ◆おむつ替えの心地よさを感じ、心身を清潔に保つ。 ◆尿意・便意や排せつしたことを伝える。 ◆トイレで定時排せつをして生活リズムを整える。		・便座での排せつや、定時排せつは個に応じて行う。
9					
10					
11	水分摂取		○水分摂取の指導【健康の保持】 ◆一定量の水分を安全に摂取できる。 ◆正しい摂取・嚥下方法を獲得する。		・健康状態も考慮しながら、水分量や姿勢を調整する。
12			○自由遊び【人間関係の形成】 ◆友達や教職員とのやりとりを楽しみ、関わりを期待したり、自分から関わろうとしたりする。		
1			○持ち物の整理【環境の把握】 ◆自分の持ち物を意識し、主体的に操作しようとする。		
2	自由遊び		○認知に関する個別課題学習【環境の把握、コミュニケーション】 ◆追視、注視、目と手の協応、サインやシンの理解等の学習を通して、見たり、聞いたり、伝えたりする力を付ける。		・好きな活動を支えにやり取りする場面を設定する。 ・個に応じて行う。 ・生活場面の中に課題を設定し、継続して取り組み、かつ日常生活で生かせるようにする。
3					